

2017 静岡地区少年少女サッカー 運営の手引き

暫定版

静岡サッカー協会4種委員会

サッカーは子供たちだけでも、父兄だけでも、指導者だけでも、審判だけでも、役員だけでもできません。皆で、子どもたちの楽しみのために協力しましょう。

* 2017版手引きの留意事項

基本的に前年度までと変わりませんが、あらためて読み返していただき、チーム内で応援に来る父兄すべてに周知をお願いします。

今年も「たくましい子」も目標の一つとしていきます。試合中、簡単に倒れないこと、倒れてもすぐ起き上がること。怪我をした場合でも試合を止めるかどうかは審判が判断することですので、選手がボールを意図的に外に蹴りだして試合を止めることのないように指導を徹底してください。

リスペクトも重視していきます。仲間、対戦相手、自チームベンチ、相手チームベンチ、審判、家族、グラウンドその他、サッカーができることすべてに対するリスペクトを持ちましょう。

1 大会へのエントリーならびに登録メンバー表

(1) エントリー方法

4種委員会の案内に従って、期限までにメールにて申し込む。

(2) 一つの加盟団体からのエントリーチーム数

すべての大会は、11人制の場合は当該学年が18名以上、8人制の場合は当該学年が12名以上（青葉リーグは14名以上）の場合は2チームのエントリーが可能。ただし、県大会に両チームが参加することはできない。

青葉リーグについては、それぞれのチームのメンバー表をエントリー時に提出することはないが、各期のシーズン中に両チームの間で選手を入れ替えることはできない。

(3) 登録メンバー表の提出

4種委員会の案内に従って、期限までにメールにて提出する。

この段階では、背番号と登録番号は不要。

フットサルについては事前の提出は不要。大会ごとの指示に従う。

(4) 登録メンバーの人数

11人制の試合	30名以内とする。
8人制の試合	20名以内とする
フットサル	15名以内とする。

(ただし県大会では規定が異なる。)

(5) 期限後の登録メンバーの変更

複数参加チームは、追加のみ可（両チーム間の入れ替えは不可）。その他のチームは変更可。いずれも大会2日前までに4種委員会にメールで連絡する。この場合、あらためてファイルを添付するのではなく、メールに変更内容のみ記載すること。

ただし、リーグ戦については随時追加登録可とし、出場させたい試合の前日までに4種委員会にメールで連絡する。この場合、ファイルを添付するのではなく、メールに変更内容のみ記載すること。

なお、プログラムを作成する大会では、期限後の変更、追加は掲載されない。

2 大会の開会式、閉会式

2012年度より開会式及び閉会式の運営方式をあらためて、あらかじめ全チームで担当を分けておくこととした。不明な点は事前に4種委員会役員に確認すること。

具体的な役割としては、本部設営、司会進行、表彰の補助、片付け等である。

開会式においては、全ての参加チームはブラカード持参（団旗は自由）、選手は揃いのユニフォームあるいはジャージ姿でグラウンドに集合すること（雨天の場合、服装は自由（傘は禁

開会式を行う大会は、青葉ライオンズクラブリーグ、JC旗、NTTカップ予選、すこやか旗とする。

開会式、閉会式には必ず指導者（D級ライセンス以上）が引率すること。その指導者は、各チームの整列した後方にて式に参加すること（指導者が大会運営に携わっていて式の進行上やむを得ない場合は、ライセンスを持たない代理者による引率を認める）。

3 会場の設営、準備、片付け

青葉ライオンズクラブリーグのチャンピオンシップ以外の11人制はすべてスモールピッチ（80m×50m）&スモールゴール（幅5m）で開催。ただし、会場の広さ等により若干縮めることは可とする。

8人制はスモールピッチ（60～68m×40m～50m）&スモールゴール（幅5m）で開催。

荒天等により大会や試合を中止する判断は、青葉リーグ及びジュニアボーイリーグは幹事が、その他の大会は4種委員会で行います。降雨=中止ではなく、決行することの危険性（雷や川の増水など）とグラウンド状態により判断します。なお、津波注意報・警報、大雨洪水警報が出ている場合は、河川敷及び海岸近くの会場の試合は実施しない。

(1) 学校グラウンドの設営及び片づけ

試合開始1時間前から行う。

コーナフラッグ、ラインカー、本部などは会場チームが準備する。

(石灰は各チームに割り当てる)

会場準備は、会場チームと第一試合2チームで行う。

片付けは、会場チームと最終試合2チームで行う。

(2) 公共グラウンドの設営及び片づけ

リーグ戦	会場準備	全チームより最低1名参加すること。
	石灰	最終試合2チーム
	コーナフラッグ、ネット等	最終試合組合せ左欄（または上段）チーム
	ラインカー、メジャー	最終試合直前の試合2チーム
	組み立て式ゴールの運搬	行きは最終試合の組合せ左欄チーム、帰りは最終試合の組合せ右欄チーム
	組み立て式ゴールの部品チェック	組み立て時：第1試合両チーム、片付け時：最終試合両チーム
	組み立て式ゴール関連	<ラージゴールを隠すためのビニールシート&組み立て式ゴール用の重しになるもの> 関係チームの中から4種委員会で指名
	本部設営	第1試合本部チーム（組合せに明記する。）
	片付け（+トンボがけ）	最終試合2チーム
	トイレ清掃	最終試合勝者（引分の場合は両チーム）
トーナメント戦	会場準備	全チームより最低1名参加すること。
	会場準備のリーダー	ラインカー、メジャー担当チームのうち、左又は上のチーム
	石灰	第1試合2チーム
	コーナフラッグ、ネット等	第1試合主審チーム (コーナフラッグの返却については、4種委員会からの指示がない場合は、第3試合終了時点の残りチームで協議する。)
	ラインカー、メジャー	第2試合2チーム
	組み立て式ゴールの運搬	行きは第1試合主審チーム、帰りは最終試合勝利チーム
	組み立て式ゴールの部品チェック	組み立て時：第1試合両チーム、片付け時：最終試合両チーム
	組み立て式ゴール関連	<ラージゴールを隠すためのビニールシート&組み立て式ゴール用の重しになるもの> 関係チームの中から4種委員会で指名
	本部設営	第1試合本部チーム = 第1試合右欄（または下段）チーム
	片付け（+トンボがけ）	最終試合2チーム
トイレ清掃	最終試合勝者	

(3) 公共グラウンドの用具

中島人工芝	スモールゴール2セットあり。コーナーフラッグ2セットは プレハブ から。
西ヶ谷総合運動場	スモールゴール2セットあり。コーナーフラッグ1セットと石灰、ラインカーは倉庫から。
みろく	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市よりサッカー協会へ管理委託（山本高司氏）
安倍口A、B、C、D	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安倍口 s s s）
狩野橋ラージ	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より サッカー協会 へ委託（海野和正氏）
狩野橋8人制	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より サッカー協会 へ委託（海野和正氏）
辰起町少年	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（安西 s s s）
辰起町サブ	ゴールなし。原則として、辰起町少年グラウンドとの併用はしない（安西 s s s）
中野新田A	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（大里西 s s s）
中野新田B	スモールゴールあり。コーナーフラッグ持ち寄り。市より町内へ委託（大里西 S S S）
組み立て式ゴールは、No1は海野 和正副委員長 宅、No.2と3は古杉氏（ Vivace代表 ）宅、キッズ（2組4個）は安倍口 s s s に管理委託。No.4～6は大高氏倉庫（ 葵区北4-1-23 ）。	

4 大会運営

(1) 本部

リーグ戦	試合日程に明記。
トーナメント戦	第1試合・・・第1試合右欄（または下段）チーム後の試合も、その試合の右覧（または下段）チームが本部となる。

(2) 本部の役割

第1試合本部は「大会運営書」を持参する。
 審判員のメンバーチェックを補助する。
 交代ゾーンを使用しない場合は、交代を受け付け、主審または副審（補助審）に知らせる。
 交代ゾーンを使用しない場合は、交代のつど、メンバー表をチェックする。
 （累積警告や前の試合の退場により、出場停止の選手を確認する）
 迅速な試合運営を促す。（次試合審判員、チームを準備させる。）
 試合記録を運営書に記入し、主審及びベンチ入りしていた両チームの指導者各1名に内容を説明してサインを求める。
 試合中のベンチの指導者等、ピッチ周りの応援等にルール違反があれば注意する。
 責任を持って次の本部に引き継ぐ
 試合結果の報告（16：00厳守）

最終試合本部がメールにて16：00までに行う。	
報告先	resultsoccer@yahoo.co.jp
内容	月日、会場、大会名（division） 試合結果（ 勝者を左欄に書くこと。 ）（前後半の区別をしない。） グリーンカード、警告、退場の場合、その内容と氏名、背番号、チーム名、その試合番号 重大だと思われる事故、傷害 報告者氏名、チーム名 （報告書をスキャンした画像ファイルの送付及び添付ファイルのみでの報告は不可。）

最終試合の本部チームは、大会運営書を翌日から一週間保管する。

(3) 試合前のメンバー表提出

すべての試合において、「静岡サッカー協会4種委員会試合メンバー表」を使用。
 毎試合、試合時間の10分前までに本部に一部提出。（相手チームには出さなくてよい。）
 試合の成立は11人制では7人、8人制では6人とする。人数の規定を満たさなくなった時点で、満たさないチームの敗戦とする（リーグ戦の場合の得点数については各大会要項による。**要項に記載のない場合は0-8とする**）。

背番号は試合ごとに異なっても構わない。メンバー表には、試合ごとに選手登録番号と背番号を記入する。なお、選手登録番号が届いていない選手は「登録申請中」と記載すること。

(4) メンバーチェック

メンバーチェックは、審判団が行う。交代ゾーンを使用しない場合は、先発メンバーのみを試合開始5分前に本部前に集合させ、安全、用具面のチェック、先発メンバーの背番号照合を行う。

交代ゾーンを使用する場合は、ベンチ入りメンバーをすべて試合開始5分前に本部前に集合させ、安全、用具面のチェック、背番号照合を行う。

氏名、登録番号の照合は行わなくてよい。

交代ゾーンを使用しない場合は、交代メンバーの安全、用具チェックは、そのつど主審、または副審（補助審）が行い、本部が補助する。

- (5) 試合におけるベンチ
 本部席左側ベンチに組合せ上欄（または左欄）チームが入る。
 その試合のメンバー表に記名された選手のみが入れる。
 ベンチ内スタッフは3名以内（チーム代表者1名を含む）。指導者については「4種委員会指導者資格規定」参照。

コーチングはベンチ内の指導資格保持者のうち、その都度1名のみが許される。
 （同時に二人が声をかけないこと）
 コーチングは、選手のプレーに対する否定的言辭を避け、むしろ良い点をほめること。
 （「期待したプレーができないのは指導者の日頃の指導の責任」と受け止めること。）

- (6) 試合前後の挨拶
 試合前 ①試合5分前に、審判団が本部前にてメンバーチェックを行う。
 ②ピッチ内5～10メートルまで入場し、本部に向い整列、あいさつ。
 ③本部からみて右側チームが審判団、相手チーム全員と握手。
 ④左側チームが審判団と握手。
 ⑤キャプテンを残し、コイントス。
 （主審は必ずコインを用意すること。ジャンケンは不可）
 試合後 ①試合終了後、センターラインをはさみ、対面する相手と握手。
 （時間に余裕ある場合、全員と握手してもよい。なお、ベンチの選手も参加してよい。）
 ②選手は自ベンチへ帰る。審判団は退場まで待つ。
 （中部支部内の試合においては、自ベンチに戻る前に、相手ベンチへのリスペクトという意味で挨拶を奨励している（フットサルを除く）。
 ③審判団は本部へ結果を報告する。
 指導者同士も試合前後に挨拶をかわすこと。
- (7) メンバー交代
 交代ゾーンを使用しない場合、交代は本部に口頭で申し出る。交代人数は自由。再入場も可能。
 リーグ戦においては「SAME CHANGE FOR EACH PLAYER」（別紙）を指導者の努力目標とし、選手の試合出場機会の平等化につとめること。

- (8) 審判
 指定する試合（県大会出場がかかる試合など）以外は次のとおりとする。「静岡サッカー協会4種委員会主催試合における審判について（平成29年度版）」参照。

青葉ライオンズクラブリーグ戦、キッズU9ジュニアボーイリーグ戦		他の方法を4種委員会で指定する試合以外は、互審で行う。 組合せ左欄（または上段）チームが前半主審。 組合せ右欄（または下段）チームが前半副審（2名）。 後半はその逆。
		ただし、両チームが事前に合意すれば、1人の主審と1人の補助審判（必須）でも可
その他の公式戦	リーグ戦	組合せ表に記載。
	トーナメント戦	第3試合上段（または左欄）チームが第1試合主審。 第3試合下段（または右欄）チームが第4試合主審。 それ以外は敗者チームが次試合の主審。 副審2名は次試合の2チームより1名ずつ。 ただし最終試合副審2名は、直前の試合チームより1名ずつ。

審判は本部に審判アドバイザーがいる場合、ハーフタイム、試合終了時にその助言を聞くこと。また、チーム内でもベンチにいた指導者と審判員とで意見交換を行うこと。

特に、リーグ戦については互審で行うことから、正確なジャッジに心がけ、選手やベンチはもちろんのこと、観戦者からも疑問をもたれることのないように気をつけること。具体的には、こどもたちのプレーに対してのアドバイスなど指導者的な態度をとらないように心がけること。

- (9) 警告と退場
 退場させられた選手は、次の公式戦1試合に出場できない。
 同一試合内での2度の警告は退場となる。
 同一大会内において、累積警告が2度となった選手は、次の1試合に出場できない。
 警告、退場はその大会に限り、他の大会に影響しない。
 （リーグ戦前期と後期は別大会と考える。）
 ただし、悪質な行為は、警告、退場にかかわらず、それ以上の処分の対象となることがある。

(10) ユニフォーム

相手チームとユニフォームの色が同じ場合（フィールドプレイヤー、ゴールキーパー）は、主審及び本部の指示に従ってどちらかのチームが着替えること。

控えのゴールキーパーがいないチームで、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーと交代する場合、ビブス着用で構わない。

ゴールキーパーのパンツ、ストッキングはフィールドプレイヤーと同じで可とする。

ペナルティキックにより次の試合へ進むチームを決めるとき、フィールドプレイヤーがゴールキーパーをつとめる場合は、フィールドプレイヤーとして出場していた背番号と異なる背番号のゴールキーパー用ユニフォーム又はビブスを着用してよい。

—半袖ユニフォームの袖の主たる色と同色のアンダーシャツを着用する場合は着用していない選手と着用している選手が混じって試合を行うことができる。なお、アンダーショーツについても同様とする。

青葉ライオンズクラブリーグ戦、キッズU9ジュニアボーイリーグ戦に限り、キックオフ時点からのキーパーのビブス着用を認める。

スポンサーロゴマーク入りユニフォームの使用については、毎年度、日本サッカー協会のユニフォーム規定に沿った手続きをとって承認を受けていれば、4種でも基本的には問題はありません。（この承認を得ていなければ、当然ですがリーグ戦を含む公式戦では一切着用できません）

(11) 応援

応援は本部席の反対側ピッチサイドより行う。

（中野新田グラウンドについては、土手側は危険なため、本部席側での応援のみとする。ただし、本部席やベンチよりも後ろに位置すること）

応援席からのコーチングならびに審判へのクレームは、指導者、応援者を問わず禁止とする。

5 リーグ戦幹事の役割

幹事に選ばれたあとの手順は次のとおり。【2017 U10, 11, 12リーグ戦大会運営マニュアル】参照

- 1 各チームの連絡先を確認し、雨天中止のときなどに使用する連絡網をつくる
- 2 各チームの選手が関係する登校日を確認する
- 3 4種委員会から送られてくる標準日程を参考に、各節の日程表を作成し、各チーム及び4種委員会にメール送信する（標準日程に掲載しているグラウンドは、原則としてそのまま使用可能）
- 4 登校日等により日程変更がある場合は、関係チームの日程を調整し、グラウンドを確保して、日程表を作成する（代休のある登校日は必ず配慮する。その他の行事の場合も、関係チームが了解すれば変更してもよい。ただし、招待試合や練習試合によるものは不可）
- 4-2 登校日の関係や他のグラウンド確保による日程や会場の変更の場合、標準日程で他のディビジョンとグラウンドを共用することになっている場合（午前と午後等）は、日程等の変更の連絡を、4種委員会アドレスだけでなく、該当ディビジョンの幹事チームに必ず連絡する
- 5 雨天等によりグラウンドが使用できない可能性がある場合は、グラウンド管理担当者に連絡し、開催の可否を判断し、各チーム及び少年委員会に連絡する
- 6 雨天中止等の場合は、予備日または関係チームの日程を調整し、グラウンドを確保して、日程表
- 7 4種委員会から各節ごとに送られてくる試合結果及び最終節終了後に送られてくる星取表を確認し、間違いがあれば訂正を連絡する。ただし、大会運営書に記載され、両チームのコーチ等のサインがあれば、結果は覆せないものとする。

6 グラウンドの注意事項

当たり前のことですが、常識を持って行動すればトラブルは防げます。子供たちのためにグラウンドを使わせていただくという気持ちを忘れないください。

ゴミは各チームで持ち帰ること。

すべての駐車車両に「チーム名、所有者名」の表示をすること。

いずれの会場でも、駐車台数に限りがあるので、できるだけ乗り合わせて来ること。

万が一、民家にボールが入った場合は、必ず大人と一緒に行き、そのお宅に断りを入れてから取りに行くこと。

(1) 中島人工芝グラウンド

道路上ではなく必ず駐車場で、選手の乗り降りや荷物の積み下ろしを行うこと。

（駐車場からグラウンドへの通路が整備されました）

(2) 西ヶ谷総合運動場

プール利用者用駐車場は絶対に使用しないこと。

スパイクでトラックに入らないこと。

競技場を周回するランニングコースで立ち止まったり、座ったりしないこと（特に芝生席の上側）。開会式や試合観戦は、必ず芝生の上で行うこと。

(3) みろく少年グラウンド

橋直下および防災道路への駐車及び通行は禁止。通行はグラウンドよりも川側のみです。

開会式が行われるときは、車両は本通方面から左折すること。

向敷地方面からは、田町グラウンドまたは国道からはいること。

開会式等終了直後は、みろく橋出口は左折のみとすること。

- (4) 安倍ログランド
近隣施設への駐車は禁止です。
 団地内の走行速度は20Kmに制限されているので、走行の際は徐行すること。
 各チームの車両は2台まで荷物車として通行して、チームテント横に置いて構わないが、残りの車両（ただし各チーム5台まで）は、Aコート南側（入り口右側の駐車場）に駐車すること（その先は通行もしないこと）。また、河川敷内の移動通行の際、は最徐行とする。
 トイレは簡易トイレを使用すること（使用許可をとれば美和児童館も可能）。
 団地内の水道は絶対に使用しないこと（使用許可をとれば美和児童館は可能）。
 Aコート南側のグランドゴルフ場は立入禁止です。Aコートを使用の場合は、必ずAコート南側ゴール付近に立ち、グランドゴルフ場にボールが入らぬようにすること。
- (5) 狩野橋グランド（狩野橋8人制グランドを含む）
 グランド堤防側の芝生でボールを使用しないこと（駐車及び休憩のみ可）。
 買い物等に行く際は、堤防にある階段を下り、そこから住宅の間を通ること。他人の家の駐車場または庭を横切らないこと。
 堤防の上からの観戦は禁止。
- (6) 辰起町少年グランド及びサブグランド
公園部分への駐車禁止
 社会人グランドへの立ち入り禁止。
 使用トイレはフットグランド横の1箇所（終了後、清掃すること）。
 緊急避難道路への立ち入り及び駐車禁止。
 辰起町少年グランドを使用する試合の時は、原則サブグランドは使用しないこと。アップ等で使用した場合は必ずトンボがけを行うこと。
 グランド委員会への使用実績報告の為、各チームの参加人数（選手及び保護者）の合計人数（おおよそで構わない）を安西sssに連絡すること。
- (7) 中野新田グランド
 利用日の朝8時前には入口の鍵（南京錠）は開錠してあります。最初の到着者は、車止め支柱からチェーンフックを外し、グラウンド内に進入。その際、外したチェーンが邪魔にならないよう片側に寄せて置くこと。
 第1試合本部（又は幹事、役員）は、グラウンドの利用のための承認証を大里西sssからFAXで受け取り、次の本部に引き継ぐこと。管理人等から提示を求められたら見せること。当日使用した承認証は後で必ず破棄すること。
 「承認証」について、提示を求められたとき提示できない場合がよくあります。今後、このような事がつづくと中野新田グランドの円滑な利用ができません。各チーム「承認証」の持参について、徹底をすること。
 ピッチ周りや防災道路には駐車しないこと。
 中野新田グランドに限り、観戦は原則としてベンチ後方で行うこと。8人制のピッチで、堤防とピッチの間に余裕がある場合は、本部席と反対側のピッチサイドで観戦してもよい。ただし、いずれの場合でも、堤防道路の上や斜面（階段も含む）では観戦禁止とする。
 各チームはトイレの水洗用に水を持参し、トイレの後ろ側にある給水口の蓋を開け、水が満タンに入っているか確認する。少ない場合は水の補充を行う。試合終了後も残った水でトイレの水タンクを補給すること。
 試合終了後は、グラウンドのトンボがけを行うこと。トンボは上グランドと下グランドの間にある。
 試合終了後トイレ掃除を行うこと。トイレの中に掃除道具が置いてある。
 最後は、車がすべて出た事を確認して、入り口のチェーンをたるませることなくチェーンフックを掛けること。鍵（南京錠）は、かけない（閉めない）。17時までには出ること。
 現在、もとCコート（入口より一番奥）への駐車は禁止。アップの利用は可だが、未整備のために注意すること。
- (8) 学校グランドその他
 定められた駐車台数を厳守すること。特に、遅れて応援に来る車がある場合にも徹底すること。

6 その他の約束事

学校グランドが会場の場合は、グランド内だけでなく駐車場を含む校内は全面禁煙。学校出入口付近での喫煙も禁止。

公共グランドが会場の場合は、ベンチ内、ピッチ周りなど指示や応援の声を出すときは禁煙。その他の場合も喫煙マナーを守る。

学校、公共グランドを問わず、車両には所属チーム名と所有者を表示すること。表示のない車の乗り入れを禁止する。

* 上記の注意事項等に違反した場合は、リーグ戦の勝ち点を減らす等の処分を行うことがある。

* 「手引き」の周知

所属団体は、本手引きをコピーして、運営に携わるスタッフ、ならびに保護者に配付し、説明すること。

また、所属選手にも関係する項目を説明すること。

以上は約束事として2017年度の中部支部4種の大会に適用される。
 (2017年5月6日改訂)